



2021年2月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2021年1月12日

上場会社名 中本パックス株式会社 上場取引所 東
 コード番号 7811 URL http://www.npacks.co.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 河田 淳
 問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役管理本部長 (氏名) 吉 功 TEL 06-6762-0431
 四半期報告書提出予定日 2021年1月12日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年2月期第3四半期の連結業績 (2020年3月1日～2020年11月30日)

(1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年2月期第3四半期	26,711	3.9	1,391	16.1	1,421	14.9	1,102	31.2
2020年2月期第3四半期	25,711	△0.6	1,198	△10.5	1,236	△9.8	840	△6.3

(注) 包括利益 2021年2月期第3四半期 1,155百万円 (56.4%) 2020年2月期第3四半期 738百万円 (△2.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年2月期第3四半期	134.94	—
2020年2月期第3四半期	102.87	—

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載していません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年2月期第3四半期	31,532	13,939	40.4	1,558.53
2020年2月期	27,568	12,419	43.9	1,479.33

(参考) 自己資本 2021年2月期第3四半期 12,736百万円 2020年2月期 12,089百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年2月期	—	28.00	—	28.00	56.00
2021年2月期	—	28.00	—		
2021年2月期 (予想)				28.00	56.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2021年2月期の連結業績予想 (2020年3月1日～2021年2月28日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	34,500	1.2	1,629	6.2	1,650	2.6	1,148	5.7	140.47

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：有
新規 1社 （社名）NAKAMOTO PACKS VIETNAM COMPANY LIMITED、除外 1社 （社名）－
（注）詳細は、添付資料P. 8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項（当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動）」をご覧ください。
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有
（注）詳細は、添付資料P. 8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）」をご覧ください。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年2月期3Q	8,173,320株	2020年2月期	8,173,320株
② 期末自己株式数	2021年2月期3Q	1,067株	2020年2月期	1,028株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年2月期3Q	8,172,284株	2020年2月期3Q	8,172,301株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(追加情報)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響により依然として厳しい状況にあり、個人消費は一部で持ち直しの動きが見られるものの、企業収益は大幅な減少が続いております。当社に関連する食品業界や電子部品・デバイス業界においても、新型コロナウイルス感染症の再拡大により生産調整の動きが見られるなど、先行きも当面、極めて厳しい状況が続くと見込まれます。

このような状況の下、「改質エコ技術でパッケージングの世界を変える Nブランド製品の拡販と環境経営の推進、原点回帰でお客様満足度を最大化する」をスローガンに、環境への負荷を低減できる開発製品の販売、製品の安定供給、生産効率・品質の向上に注力いたしました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の経営成績は、売上高は26,711百万円（前年同期比3.9%増）、営業利益は1,391百万円（同16.1%増）、経常利益は1,421百万円（同14.9%増）となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は1,102百万円（同31.2%増）となりました。

製品用途別の経営成績は次のとおりであります。

(食品関連)

外出自粛・在宅勤務が拡大したことにより、来店客数に影響が出たコンビニエンスストアやデパ地下向け包材、外食向けの業務用包材は減少しましたが、中食や内食需要の高まりにより冷凍食品、乳製品、豆腐などのスーパーマーケット向け包材は好調に推移しました。また、汎用性の高い持ち帰り用の容器・トレイ向け商材は堅調であったことにより、売上高は18,029百万円（前年同期比3.4%増）となりました。利益については、関係会社を中心とした生産効率向上効果があったものの、行楽やイベント用の比較的高価格帯の容器・トレイ向け商材の減少により利益率は低下し、売上総利益は1,957百万円（同3.2%減）となりました。

(IT・工業材関連)

電子部品製造用フィルムやスマートフォン用途が堅調に推移したほか、自動車生産が先進国と中国を中心に回復し始めたことより自動車内装材もやや持ち直しました。感染症対策で工場への入場制限により立会試作が減少していた影響は残るものの量産化へ進む案件も出てきたほか、リピート品や自社開発品であるNSセパを中心に生産効率の向上にも努めた結果、売上高は3,444百万円（前年同期比4.6%増）、売上総利益は991百万円（同26.3%増）となりました。

(医療・医薬関連)

病院関連で輸液関係包材が増加、新型コロナウイルス関連で防護服やフェイスシールドなどの加工を受託しました。また、貼付剤関連ではジェネリック医薬品用フィルムの受注も堅調に推移した結果、売上高は1,190百万円（前年同期比15.5%増）、売上総利益は207百万円（同2.0%増）となりました。

(建材関連)

建材印刷の家具関連は低調でしたが、前年に導入した新型塗工機を使った機能性建材が順調に推移、生産効率も向上したことにより、売上高は1,229百万円（前年同期比14.4%増）、売上総利益は175百万円（同33.6%増）となりました。

(生活資材関連)

新型コロナウイルス感染症の影響により4月から5月にかけてショッピングモール等の営業自粛による販売減少がありましたが、キッチン関連や、遮熱・断熱などエコ関連の新商材投入、新規取引先の増加により持ち直し、売上高は2,365百万円（前年同期比1.9%減）、売上総利益は789百万円（同9.5%増）となりました。

(その他)

各種プラスチックフィルム等の販売が減少したほか、前年同期にあった機械販売の反動減がありましたが、連結子会社化した三国紙工株式会社の重包装関係が増加したことにより、売上高は450百万円（前年同期比4.3%減）、売上総利益は151百万円（同36.4%増）となりました。

（2）財政状態に関する説明

（資産）

当第3四半期連結会計期間末の総資産につきましては、前連結会計年度末に比べ3,964百万円増加し、31,532百万円となりました。

流動資産につきましては、持分法適用関連会社であった三国紙工株式会社を連結子会社としたこと等により受取手形及び売掛金が219百万円、電子記録債権が232百万円、たな卸資産が654百万円それぞれ増加したことや、短期借入金の増加等により現金及び預金が1,630百万円増加したこと等により、前連結会計年度末に比べ2,618百万円増加し、17,007百万円となりました。

固定資産につきましては、持分法適用関連会社であった三国紙工株式会社を連結子会社としたこと等により有形固定資産が1,131百万円増加したことや、投資その他の資産が178百万円増加したこと等により、前連結会計年度末に比べ1,346百万円増加し、14,525百万円となりました。

（負債）

当第3四半期連結会計期間末の負債につきましては、前連結会計年度末に比べ2,444百万円増加し、17,592百万円となりました。

流動負債につきましては、持分法適用関連会社であった三国紙工株式会社を連結子会社としたこと等により支払手形及び買掛金が1,064百万円増加したことや、短期借入金が995百万円、賞与引当金が165百万円それぞれ増加したこと等により、前連結会計年度末に比べ2,335百万円増加し、14,481百万円となりました。

固定負債につきましては、持分法適用関連会社であった三国紙工株式会社を連結子会社としたこと等により退職給付に係る負債が93百万円増加したことや、長期借入金が92百万円増加したこと等により、前連結会計年度末に比べ109百万円増加し、3,110百万円となりました。

（純資産）

当第3四半期連結会計期間末の純資産につきましては、前連結会計年度末に比べ1,519百万円増加し、13,939百万円となりました。これは、持分法適用関連会社であった三国紙工株式会社を連結子会社としたこと等により非支配株主持分が872百万円増加したことや、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上等により利益剰余金が645百万円増加したこと等によるものであります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年4月13日に公表いたしました2021年2月期の連結業績予想について変更はございません。今後の新型コロナウイルス感染症の影響や経営環境等の変化により、業績予想について見直しが必要と判断した場合には速やかに開示してまいります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2020年2月29日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,558,645	4,188,718
受取手形及び売掛金	7,459,399	7,679,174
電子記録債権	1,357,278	1,590,273
商品及び製品	1,756,580	2,168,861
仕掛品	357,538	427,064
原材料及び貯蔵品	605,369	777,963
その他	298,883	183,887
貸倒引当金	△4,539	△8,625
流動資産合計	14,389,156	17,007,320
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	5,485,812	5,621,952
機械装置及び運搬具(純額)	2,019,335	2,299,222
土地	2,928,210	3,140,388
その他(純額)	960,703	1,464,274
有形固定資産合計	11,394,061	12,525,836
無形固定資産	339,088	375,107
投資その他の資産		
その他	1,472,882	1,651,374
貸倒引当金	△27,145	△27,145
投資その他の資産合計	1,445,736	1,624,228
固定資産合計	13,178,886	14,525,172
資産合計	27,568,043	31,532,492

（単位：千円）

	前連結会計年度 (2020年2月29日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年11月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,871,952	3,935,958
電子記録債務	3,625,117	3,597,952
短期借入金	3,711,360	4,707,001
1年内返済予定の長期借入金	777,462	768,792
未払法人税等	207,975	213,353
賞与引当金	214,602	379,866
その他	738,445	879,039
流動負債合計	12,146,915	14,481,965
固定負債		
長期借入金	2,200,319	2,292,970
退職給付に係る負債	176,610	269,632
その他	624,318	548,149
固定負債合計	3,001,248	3,110,751
負債合計	15,148,163	17,592,717
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,057,468	1,057,468
資本剰余金	1,158,408	1,158,408
利益剰余金	9,502,455	10,147,544
自己株式	△1,039	△1,101
株主資本合計	11,717,292	12,362,319
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	102,517	135,546
繰延ヘッジ損益	3,305	△3,683
為替換算調整勘定	276,306	257,220
退職給付に係る調整累計額	△9,881	△14,734
その他の包括利益累計額合計	372,247	374,349
非支配株主持分	330,339	1,203,106
純資産合計	12,419,879	13,939,774
負債純資産合計	27,568,043	31,532,492

（2）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

（四半期連結損益計算書）

（第3四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第3四半期連結累計期間 （自 2019年3月1日 至 2019年11月30日）	当第3四半期連結累計期間 （自 2020年3月1日 至 2020年11月30日）
売上高	25,711,602	26,711,162
売上原価	21,737,217	22,438,126
売上総利益	3,974,385	4,273,036
販売費及び一般管理費	2,775,825	2,881,492
営業利益	1,198,560	1,391,543
営業外収益		
受取利息	1,403	1,406
受取配当金	9,861	9,880
持分法による投資利益	4,795	2,373
受取地代家賃	20,713	21,060
その他	117,732	97,872
営業外収益合計	154,506	132,593
営業外費用		
支払利息	57,921	53,913
為替差損	38,786	25,256
その他	20,056	23,880
営業外費用合計	116,764	103,051
経常利益	1,236,302	1,421,085
特別利益		
固定資産売却益	—	449
負ののれん発生益	—	227,983
特別利益合計	—	228,433
特別損失		
固定資産売却損	—	104
固定資産除却損	1,297	11,627
投資有価証券評価損	24,874	—
段階取得に係る差損	—	99,206
特別損失合計	26,172	110,938
税金等調整前四半期純利益	1,210,130	1,538,581
法人税等	366,029	385,392
四半期純利益	844,100	1,153,188
非支配株主に帰属する四半期純利益	3,416	50,451
親会社株主に帰属する四半期純利益	840,683	1,102,737

（四半期連結包括利益計算書）
 （第3四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第3四半期連結累計期間 （自 2019年3月1日 至 2019年11月30日）	当第3四半期連結累計期間 （自 2020年3月1日 至 2020年11月30日）
四半期純利益	844,100	1,153,188
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	29,151	37,084
繰延ヘッジ損益	△7,412	△6,988
為替換算調整勘定	△115,099	△20,805
退職給付に係る調整額	△11,830	△4,853
持分法適用会社に対する持分相当額	△249	△2,377
その他の包括利益合計	△105,440	2,059
四半期包括利益	738,660	1,155,248
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	753,412	1,104,838
非支配株主に係る四半期包括利益	△14,752	50,409

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)

(1) 連結の範囲の重要な変更

第1四半期連結会計期間に設立したNAKAMOTO PACKS VIETNAM COMPANY LIMITEDについて、第2四半期連結会計期間に出資が完了したため、連結の範囲に含めております。

なお、特定子会社には該当していませんが、第2四半期連結会計期間より、持分法適用関連会社であった三国紙工株式会社の株式を追加取得したことにより、連結の範囲に含めております。

(2) 持分法適用の範囲の重要な変更

第2四半期連結会計期間より、三国紙工株式会社の株式を追加取得し連結の範囲に含めたため、持分法適用の範囲から除外しております。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、法人税等調整額は、法人税等に含めて表示しております。

(追加情報)

当社グループは、新型コロナウイルス感染症の影響について、今後の広がり方や収束時期に関して不確実性が高い事象であると考えております。

本件が当社グループの業績に与える影響は、当初、2020年夏頃まで続くと仮定しておりましたが、終息時期は未だ予測することが出来ない状況にあるため、翌連結会計年度以降も一定期間にわたり継続するとの仮定に変更し、固定資産の減損、繰延税金資産の回収可能性などの会計上の見積りを行っております。